

＼ 電力を上手に使おう！



環境プラザの環境相談員・岡崎さんにお話を聞きました

家電を見直すことは、電力を効率良く使えるほか、経年劣化による不具合や電源プラグからの火災を防ぐなど、安心・安全にもつながります。普段気づきにくい暖房のフィルターや、冷蔵庫の背面や側面の下にある通気口の掃除も省エネのポイント。設定を変えるだけで省エネになる家電もありますので、できることから始めるのが大切です。

環境プラザ

住所 北区北8西3エルプラザ内
開館 9時～18時。環境相談は毎月第2・第4木曜13時～16時
詳細 ☎728-1667

省エネの例

☑電気ポットや炊飯器の保温を短時間に

電気ポットの電源プラグを抜いて保温せず再沸騰させて使うと

年間CO₂は52.4kg削減、電気代は約**2,900円節約**

(電気ポットで水2.2ℓを沸騰させ、1.2ℓを使用して6時間保温した時と比べた場合)



☑省エネ機能がある家電に替える

白熱電球を電球形LEDランプに替えると

年間CO₂は43.9kg削減、電気代は約**2,430円節約**

(54Wから9Wの電球に替えて年2,000時間使用した場合)



☑温水洗浄便座を使わない時はふたを閉める

ふたを閉めた場合と開けたままの場合を比べると(貯湯式)

年間CO₂は17kg削減、電気代は約**940円節約**

☑テレビや冷蔵庫などの家電を省エネモードに

もう一歩! 冷蔵庫に物を詰め込んだ状態から半分にする

年間CO₂は21.4kg削減、電気代は約**1,180円節約**

CO₂削減量や電気代の節約料金の出典: 資源エネルギー庁ホームページ「省エネポータルサイト」

再エネの例

☑再生可能エネルギーを取り入れる

太陽や風など自然の力で発電するため、CO₂を排出しない再生可能エネルギー。家に太陽光パネルを設置するほか、再生可能エネルギーで発電した再生可能電力を購入して使用することもできます。

再エネ電力に切り替えると

年間CO₂は**1,232kg削減**

(1世帯の電力消費量などから算出)



CO₂削減量の出典: 環境省ホームページ「ゼロカーボンアクション30」

市役所本庁舎の電力が10月から再生可能エネルギー100%に

電力の切り替えにより、年間1,450tのCO₂の削減が見込まれます。併せて、市の公用車として電気自動車を1台導入予定。電気自動車の電力は全て再生可能エネルギーで賄うことになり、走行時のCO₂排出量をゼロにする「ゼロカーボン・ドライブ」を実践できます。



■再生可能エネルギー機器導入補助金

太陽光発電設備や家庭用燃料電池などを導入する際に、一定額を補助。年2回程度実施しています。

対象 太陽光発電設備は既設が新設の蓄電設備への接続が必要。その他要件あり

申込 区役所、市役所12階環境エネルギー課、ホームページなどで配布中の申込書を、11/9(必着)まで。抽選

詳細 補助金受付係 ☎700-0699 | 札幌 再生可能エネルギー機器導入補助金 [検索](#)

■再生可能電力への切り替え

再生可能電力プランを提供している事業者一覧を、市のホームページで公表しています。各社の電力プランの特長やおすすめのポイントを比較できます。

札幌 再生可能電力 [検索](#)

考えよう、行動しよう



気候変動とエコな暮らし

各地に深刻な影響を及ぼしている気候変動。原因の一つは、人々の活動によって二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスが増え、地球が温暖化したと考えられています。このページでは、地球環境のために、生活の中で私たちができることを紹介します。

[詳細](#) 環境政策課 ☎211-2877

札幌の気温はどうなっている？

100年当たりの年平均気温は、世界では約0.74℃(1891年～2019年)、札幌では約**2.5℃**(1898年～2020年)上昇しています。世界各地で強い台風や干ばつなどによる被害が発生しており、北海道内でも短時間に強い雨が降る頻度や降水量が増加傾向にあります。



温暖化対策を強化しないと…
今から80年たたないうちにこうなる予測も

20世紀末(1980年～1999年の平均)と21世紀末(2076年～2095年の平均)の予測を比較

石狩地方の年平均気温
約**4.9℃上昇↑**



石狩地方の真夏日*1
約**26日増加↑**



*1 1日の最高気温が30℃以上になる日

北海道の短時間強雨**2の発生頻度
約**4.1倍**



**2 1時間の降水量が30mm以上の雨

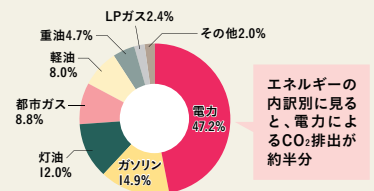
参考: 札幌市気候変動対策行動計画、札幌管区気象台ホームページ「石狩地方の気候変動」

2050年には札幌の温室効果ガス排出量を実質ゼロに

札幌から排出される1年間のCO₂の排出量は1,113万t(2019年度の速報値)。そのうち、家庭からの排出量は約35%でした。札幌市では、CO₂などの温室効果ガスの排出量を2050年に実質ゼロ*にすることを目標としています。

*排出量から植林や森林整備などによる吸収量を差し引いて合計をゼロにすること

■市内のCO₂排出量のエネルギー種別内訳(2019年度速報値)



エネルギーの内訳に見ると、電力によるCO₂排出が約半分

できることから始めてみよう

私たちが使う電力などのエネルギーをつくる時には、基本的にCO₂が排出されます。家で使う電力を減らすと、環境に優しいだけでなく電気代の節約など家計に優れることも。エネルギーを使う時は環境面を考えることも大切です。

